

新日軽 PE錠・EE錠・EF錠 取付マニュアル



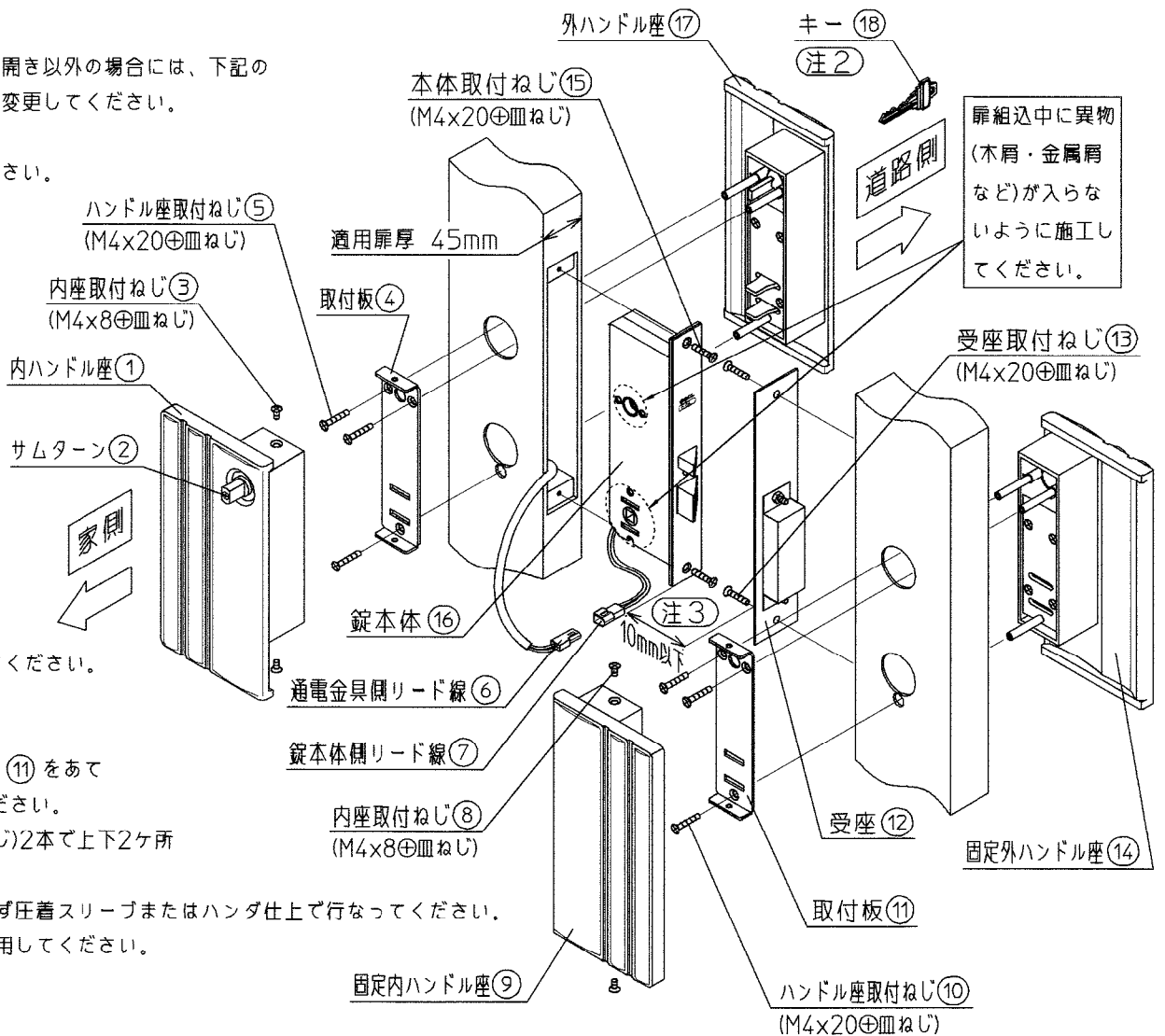
- ※ 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- ※ 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合は、責任を負い兼ねることがあります。
- ※ 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、施工説明書をお渡しく下さい。
- ※ スベリ止め付き手袋を御使用ください。金具で手を切ることもあります。
- ※ ハンドル等の突起物を足場にしないでください。滑って、けがをすることがあります。また、製品性能が低下することがあります。
- ※ ネジは、添付の取り付け説明書に従って、正確に締め付けてください。締め付け不良の場合、故障の原因になります。
- ※ 全ての部品を取り付け後、正常に作動しているか確認してください。

■ 施工上のご注意 (故障や誤動作の原因となります)

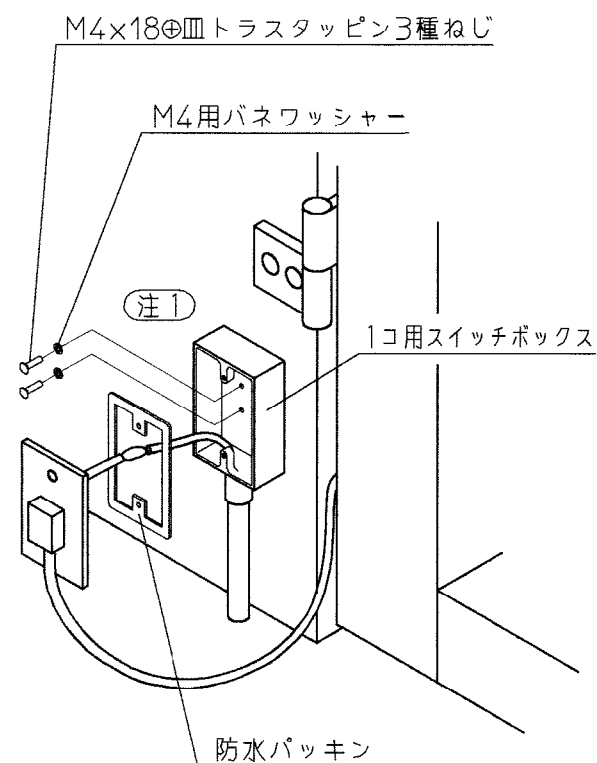
- 1 メカ錠及び電気錠は分解しないでください。
- 2 投げたり、落としたり、ハンマーによる衝撃などを加えないようにしてください。
- 3 2線式電気錠は、ドアホン子器・カメラ付ドアホン子器など同一線(多芯ケーブル)を使用しないでください。
また、AC100V配線とは別配管で配線してください。
- 4 錠内部へは異物(木屑・金属屑など)が入らないように施工してください。

■ 錠の取付方法

- 1 勝手変更
本セットは右勝手内開き用になっています。扉の勝手に右勝手内開き以外の場合には、下記の「勝手変更方法」にしたがって錠本体およびハンドル座の勝手を変更してください。
 - 2 結線〔電気錠の場合のみ〕
錠本体側リード線⑦と通電金具側リード線⑥を結線してください。
 - 3 錠本体取付け
錠本体⑬を本体取付ねじ⑮(M4×20⊕皿ねじ)2本で扉に取り付けてください。
 - 4 外ハンドル座取付け〔注2〕
内座取付ねじ③2本をゆるめ取付板④をはずします。
扉外側から外ハンドル座⑰を差し込み、扉内側から取付板④をあてハンドル座取付ねじ⑤(M4×20⊕皿ねじ)3本を締め付けてください。
 - 5 内ハンドル座取付け
内ハンドル座①のサムターン②の向きが、解錠時縦向きになるように差し込み、内座取付ねじ③(M4×8⊕皿ねじ)2本で上下2ヶ所を締め付けてください。
 - 6 受座取付け〔注3〕
受座⑫を受座取付ねじ⑬(M4×20⊕皿ねじ)2本で取り付けてください。
 - 7 固定ハンドル座取付け〔両開きセットの場合のみ〕
内座取付ねじ⑧2本をゆるめ取付板⑪をはずします。
扉外側から固定外ハンドル座⑭を差し込み、扉内側から取付板⑪をあてハンドル座取付ねじ⑩(M4×20⊕皿ねじ)3本を締め付けてください。
次に固定内ハンドル座⑨を、内座取付ねじ⑧(M4×8⊕皿ねじ)2本で上下2ヶ所締め付け取り付けてください。
- 〔注1〕 スイッチボックスのコネクター接続以外のケーブル接続は、必ず圧着スリーブまたはハンダ仕上で行なってください。
また、テーピングは自己融着テープ(ブチルゴムテープ)を使用してください。
- 〔注2〕 キー⑱を抜いた状態で取り付けてください。
- 〔注3〕 受座⑫と錠本体⑬のすき間は10mm以下にしてください。

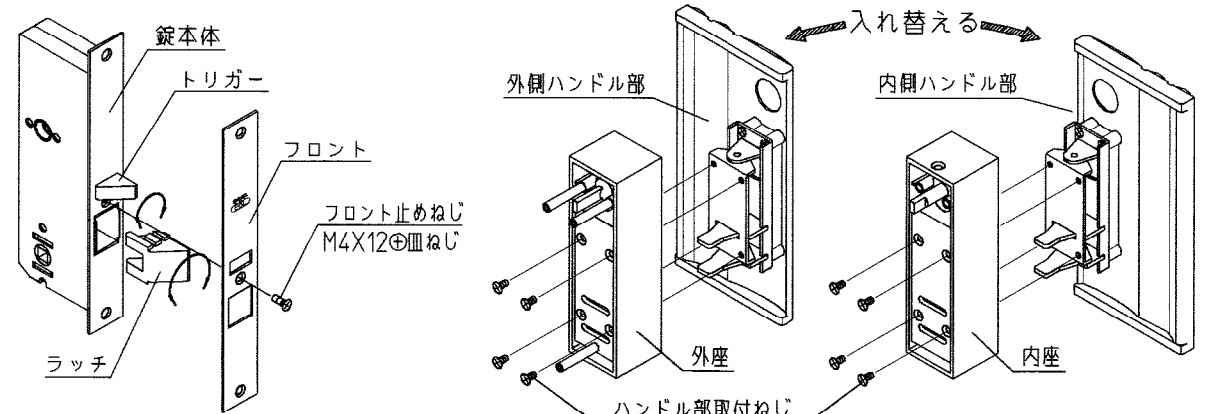


■ 通電金具の取付方法



■ 勝手変更方法

- 〔A〕 錠本体の勝手変更方法
- 1) フロント止めねじ(M4×12⊕皿ねじ)をゆるめ、フロントをはずしてください。
 - 2) ラッチを抜き取り、向きを変えて差し込んでください。
 - 3) トリガーは回して向きを変えてください。
 - 4) 再びフロントを取り付けてください。
- 〔B〕 ハンドル座の勝手変更方法
- 1) 外ハンドル座、内ハンドル座共ハンドル取付ねじ(M4×8⊕皿ねじ)をゆるめハンドル部を取りはずしてください。
 - 2) 外側のハンドル部を内座に、内側のハンドル部を外座に取り付けてください。
- 〔注5〕 両開きセットの場合
固定ハンドル座も同様に内外のハンドル部を入れ替えてください。



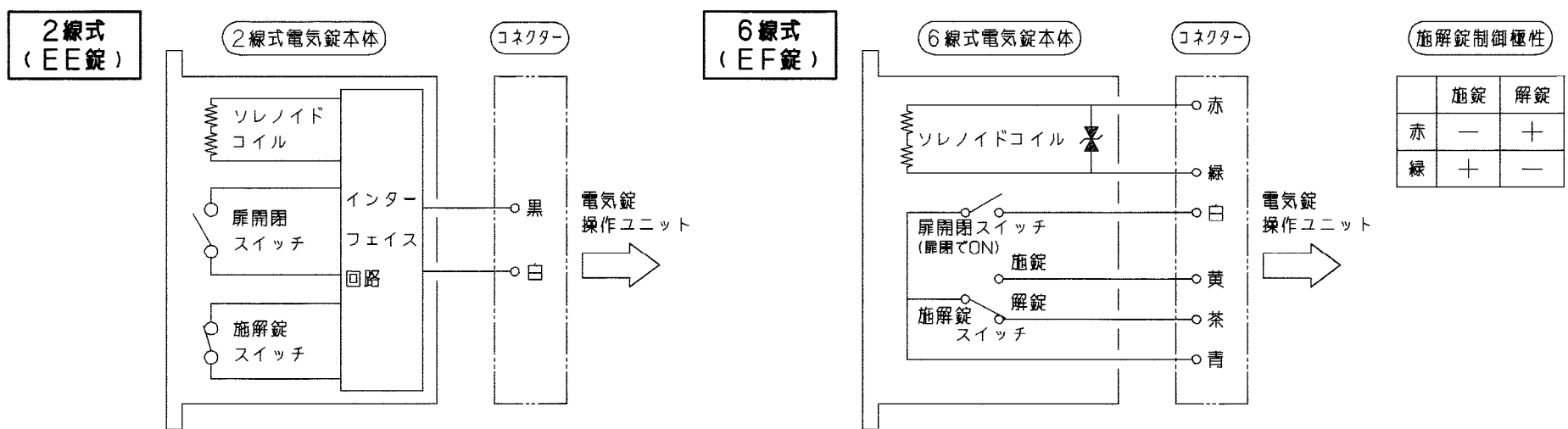
下の表に従って勝手を変更してください

扉の勝手(図は扉を上から見た図です)	勝手変更	扉の勝手(図は扉を上から見た図です)	勝手変更
右勝手内開き (内側) 錠本体側 (外側)	勝手変更不要 そのまま取り付けてください	左勝手内開き (内側) 錠本体側 (外側)	上記〔A〕〔B〕に従って錠本体およびハンドル座の勝手を変更してください
右勝手外開き (内側) 錠本体側 (外側)	上記〔A〕に従って錠本体の勝手を変更してください	左勝手外開き (内側) 錠本体側 (外側)	上記〔B〕に従ってハンドル座の勝手を変更してください

■ 梱包部品一覧表

部品名	PE錠		EE錠 (2線式電気錠)		EF錠 (6線式電気錠)		備考 (部品・ビス類)
	片開き TMKPE1K	両開き TMKPE2K	片開き TMKEE1K	両開き TMKEE2K	片開き TMKEF1K	両開き TMKEF2K	
錠本体	1	1	1	1	1	1	M4×20 ⊕皿ねじ..... 2本
外ハンドル座	1	1	1	1	1	1	キー..... 3本
内ハンドル座	1	1	1	1	1	1	取付板..... 1ケ M4×20 ⊕皿ねじ..... 3本 M4×8 ⊕皿ねじ..... 2本
固定外ハンドル座	—	1	—	1	—	1	
固定内ハンドル座	—	1	—	1	—	1	取付板..... 1ケ M4×20 ⊕皿ねじ..... 3本 M4×8 ⊕皿ねじ..... 2本
受座	1	1	1	1	1	1	M4×20 ⊕皿ねじ..... 2本
通電金具	—	—	1	1	1	1	スイッチボックス..... 1ケ 防水パッキン..... 1ケ M4×18 ⊕皿トラスタッピン3種..... 2本 M4用バネワッシャー..... 2ケ

■ 内部回路 [電気錠のみ] (本図は解錠・扉開の状態を示します)



■ 配線方法 [電気錠のみ]

配線・結線についての詳しいことは、電気錠操作器及びテンキー等のマニュアルを参照ください。

■ 仕様

定格電圧	24V
定格電流	0.35A
使用温度範囲	-10℃~50℃

■ 動作確認

(裏面の取付け方法の図を参照してください)

	電気的 操作	機械的 操作	
施錠	シーケレットスイッチまたは操作ユニットの操作にて施錠してください	サムターンまたはキーを吊元側に回してください	施錠となりハンドルは固定されて扉を開けることができなくなります
	電気的 操作	サムターンまたはキーを戸先側に回してください	
解錠	シーケレットスイッチまたは操作ユニットの操作にて解錠してください	サムターンまたはキーを戸先側に回してください	解錠となりハンドルを操作して扉を開けることができます
	機械的 操作		

■ 施工後の異常に対する処置

錠前の動作や操作が正常でない場合は以下の確認を行ってください。(各取付ねじはしっかりと締め付けてください)

チェック項目	結果	備考
扉の状態は正常か。 (1) 扉のねじれ、ゆがみはないか。 (2) 扉のはね返りはないか。 (3) 錠前側のチリ(受座と錠本体のすき間)は10mm以内か。		
錠本体・フロントが扉に正しく納まっているか。		
ハンドル座の取付け状態は良好か。 (1) 異常なガタツキはないか。 (2) 動きはスムーズか。		
受座の取付け状態は良好か。 (1) 取付け方向は正しいか。 (2) ラッチと受座の穴の位置(上下・前後)は正しいか。		
通電金具の取付け状態は良好か。		
扉を開けた状態での、電気錠の作動は良好か。 (1) ラッチ・トリガーの動きはスムーズか。 (2) トリガーを押し込んだ状態でサムターン、またはキーを吊元側に約45°回した時ラッチ、及びハンドルが固定されるか。 (3) サムターン、またはキーを戸先側に約95°回したとき、ハンドルを操作して(ラッチの背面を押して)ラッチが回転できるか。		
扉を閉じた状態での、電気錠の作動は良好か。 (1) 扉が軽く閉まりスムーズにラッチングするか。 (2) サムターン、またはキーを吊元側に約45°回せるか。 (3) その時、ハンドルが固定されて、扉を開けることができなくなるか。 (4) サムターン、またはキーを戸先側に約95°回した時、ハンドルを操作してラッチが回転し、扉を開けることができるか。 (5) 自動施錠で使用する時、扉を閉めると施錠されハンドルが固定されるか。		
結線は正しくなされているか。 (1) 操作盤・通電金具・電気錠の間は正しく結線されているか。 (2) 断線はないか。 (3) 配線は電気錠操作ユニットと電気錠の間の距離に見合う太さの線を使用しているか。		